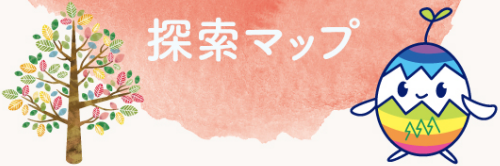


おすすめのお店の情報がいっぱい!

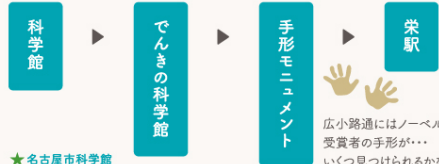
# 芸術と科学の杜

探索マップ



おすすめ散策コース

science 科学を楽しむコース



★名古屋市科学館



科学館の大きな特徴である宙に浮いているプラネタリウム(NTP:ぶらねっと)がぱっちり入る撮影おすすめポイント!道路の真ん中から撮影できたらラッキーかも。

でんきの科学館



電気をはじめ環境やエネルギーについての「展示室」、科学のふしぎな「おもしろ実験」、クイズやゲームに挑戦する「オーシアター」など、楽しさいっぱいです。

Art 文化芸術にふれるコース



★「メキシコの翼」



①「メキシコの翼」はオスメ撮影スポット! 全長390cmの大きな翼のブロンズ像で、身体と「願い、勇気、努力」の精神の羽ばたきの可能性を表現している作品。

★「ハンマリングマン」



②美術館の地下1階にある「ハンマリングマン」。ガラス越しに外を見ると... 科学館のプラネタリウムを叩いて!?

若宮八幡社



社伝によると、文武天皇の治世だった西暦700年前後に鎮座し、延喜年間(901~923年)に再興されました。慶長15(1610)年に現在地に移されて以降、名古屋城下の総鎮守とされました。



point 01

## 広小路商店街エリア

広小路通は、古くは約5.5mの道路でしたが、1660年の万治の大火をきっかけに27mに拡幅され、その当時は練日など庶民の娯楽の場として賑わっていたそうです。現在は30mに拡幅され、名古屋駅と栄地区を結ぶにぎわいあるまちとなっています。

point 02

## 桑名通商店街エリア

愛知県なのに「桑名通」なのはなぜでしょう?1612年に行われた「清洲越し」のときに三重県の人がこの地に移り住み、出身地が地名になったと言われています。歴史を感じるスポットを残しながらも、飲食店やサービス業をはじめ、文化・芸術施設があり魅力や個性があふれるまちです。

point 03

## 末広会エリア

本町通は、名古屋城と熱田神宮を結ぶ歴史ある名古屋のメインストリートで、名古屋で最初の舗装道路にもなりました。この通りにお店を出すのは商人の誇りとも言われ、昔から一流の即問屋が軒を連ねる通りとなっています。

### 広小路商店街

- 1 イビサ名古屋ショールーム  
TEL:052-219-2112
- 2 日動画廊 名古屋支店  
TEL:052-221-1311
- 3 一富士  
TEL:052-231-0124
- 4 niku no OTO  
TEL:052-228-8015

### 桑名通商店街

- 5 どて焼き 島正  
TEL:052-231-5977
- 6 どんどん庵 伏見店  
TEL:052-232-3665
- 7 名古屋伏見モンブランホテル  
TEL:052-232-1121
- 8 讃岐うどん田丹 2丁目店  
TEL:052-202-8230
- 9 男前バスタ  
TEL:052-265-5161
- 10 くらっぴー結び 栄店  
TEL:052-221-8818

### 末広会

- 11 名古屋医健スポーツ専門学校  
TEL:052-238-3455
- 12 本町 ひもの食堂  
TEL:052-238-3788
- 13 高級「生」食パン専門店  
乃が美 はなれ 栄販売店  
TEL:052-202-9922
- 14 本町通カレル  
TEL:052-684-8146
- 15 ゴルフニューオオシカ  
TEL:052-262-1771

### 文化施設/cultural facility

- A 名古屋市科学館  
TEL:052-201-4486
- B 名古屋市美術館  
TEL:052-212-0001
- C でんきの科学館  
TEL:052-201-1026
- D 電気文化会館  
TEL:052-204-1133
- E 名古屋市環境学習センター  
(エコバルなごや)  
TEL:052-223-1066
- F 三井住友海上しらかわホール  
TEL:052-222-7110
- G なごや人權啓発センター  
(ソレイユプラザなごや)  
TEL:052-684-7017



# 芸術と科学の杜へようこそ!



アートな発見や歴史ある場所もあって見どころいっぱい。  
歩き疲れたらちょっとひと休みできるお店もあるよ。  
さあ、このマップを手にして杜の探索へレッツゴー!!

♪ 名古屋の観光名所へのアクセス //

**名古屋科学館** 「伏見駅」下車  
名古屋美術館 「伏見駅」5番出口から徒歩5分、美術館は徒歩8分

**名古屋城** 「栄駅」▶名城線・右回り▶「市役所駅」下車  
「市役所駅」7番出口から徒歩5分

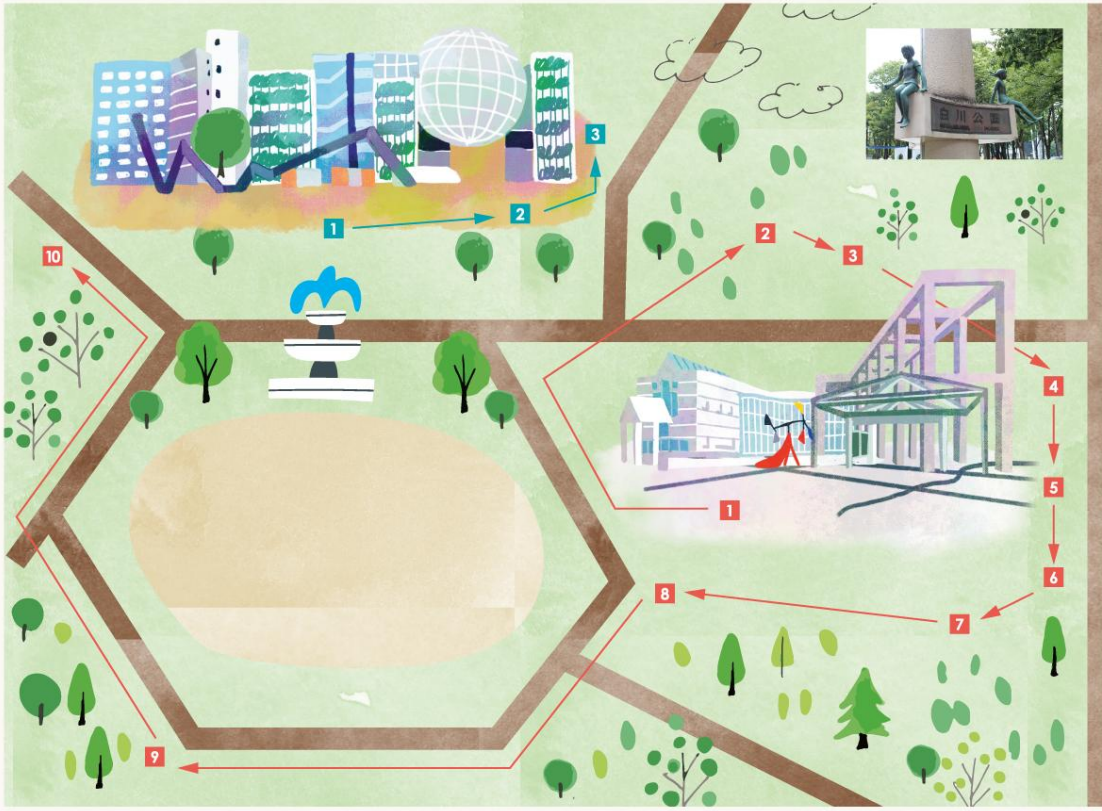
**名古屋港** 「矢場町駅」▶名城線・名古屋港行▶「名古屋駅」下車  
「名古屋駅」3番出口から徒歩5分

**名古屋駅** 「伏見駅」▶東山線・高畑行▶「名古屋駅」下車

**セントレア** 「矢場町駅」▶名城線・左回り▶「金山駅」▶  
名鉄・名古屋本線中部国際空港行▶  
「中部国際空港駅」下車



**主催** 芸術と科学の杜連携推進会議  
**地元** 広小路商店街、桑名通商店街、末広会  
**監修** (公財)名古屋市文化振興事業団  
**発行日** 2022年3月



白川公園で  
芸術を感じる！  
コース

<p><b>1</b></p> <p>「ファブール・ドラゴンII」アレクサンダー・コルダ (1969年) アレクサンダー・コルダは、アメリカ合衆国の彫刻家・現代美術家。動く彫刻「モビール」の発明と制作で知られ、抽象彫刻のほか、絵画や玩具など様々な分野で創作活動を展開しました。</p>	<p><b>2</b></p> <p>「椰子(パルマス) セバステアン(1993年)」 この作品は半円形のアーチで形作られた椰子の木に寄りかかるとの手と舌を表したものです。両手の手のひらに隠れた形は、古代メキシコの文化において想像力や王の尊厳、魔術的力を表現するものでした。</p>	<p><b>3</b></p> <p>「メキシコの翼、ホルヘ・マリ (2010年)」 この作品は、全長390cmの翼のブロンズ像で、身体と翼、翼、翼、翼の精神の羽ばたきの可能性を表現しています。メキシコを代表する現代アート作品で、シゲル・ポール、ロサンゼルス、ベルリン等の都市に期間限定で展示されています。</p>	<p><b>4</b></p> <p>「智者の頭」(1989-90年)「黒い立像」(1988年)「マグダレーナ・アバノヴィッチ」 アバノヴィッチはポーランドの彫刻家です。彼女の作品には、厳しい生存条件の中を生きた人間の自由というテーマが流れています。</p>	<p><b>5</b></p> <p>「接近V」アントニー・ゴームリー (1999年) アントニー・ゴームリーは現代のイギリスを代表する彫刻家です。身長193cmの自身の身体を型取りして作られた人形像が知られています。作品が置かれる空間、時間、自然との関係性を重視し、高い評価を得ています。</p>
<p><b>6</b></p> <p>「風のまつり」新宮 晋(1978年) 新宮晋は風や水の水力によって動く立体作品を制作し世界的に活躍する作家です。風や天候によって作品の表情が変わるところに魅力があります。</p>	<p><b>7</b></p> <p>「魂」イサム・ノグチ(1982年) 幼少期を日本で過ごし、アメリカ、フランスで彫刻を学んだノグチは、従来の彫刻の域をはるかに広げ、その豊かな芸術性と表現力によって、20世紀を代表する彫刻家の一員として知られています。</p>	<p><b>8</b></p> <p>「点音in白川公園」名古屋美術館「アート」 鈴木昭男(2009年) 鈴木昭男は、日本を代表するサウンド・アーティスト。1996年に開始した街のサウンド・プロジェクトを、これまでに30都市以上で開催されています。</p>	<p><b>9</b></p> <p>「名古屋のための5つの人体」ホルスト・アンテス(1997年) ドイツの作家ホルスト・アンテスが白川公園を視察して制作し、1997年に設置されました。木々の間に見え隠れする人体像は不思議な風景を演出し私たちの想像力を喚起しています。</p>	<p><b>10</b></p> <p>「ボールをつかむ爪の野鳥」パトリック・フランナガン(1989-90年) パトリック・フランナガンはイギリスの作家です。1980年頃から始めた野鳥のシリーズは、彼の代表作です。巨大で生命かみらしたフランナガンの野鳥は、どこか人間さを感じさせます。</p>

### 科学 Science

**A 名古屋市科学館**

052-201-4486  
9:30-17:00(入館は16:30まで)  
月曜日(祝日の場合は翌平日)  
第3金曜日(祝日の場合は第4金曜日)  
年末年始  
【展示室とプラネタリウム】  
大人800円、高校・大学生500円、中学生以下無料  
【展示室のみ】  
大人400円、高校・大学生200円、中学生以下無料  
http://www.ncsm.city.nagoya.jp/  
不思議と驚きの連続!! 見たことのない科学の世界がここにあります。

**ミュージアムカフェ**  
052-212-0039  
9:30-17:00  
名古屋市科学館休館日

**ミュージアムショップ スキエンティア**  
052-212-0012  
9:30-17:00  
名古屋市科学館休館日

### 美術 Art

**B 名古屋市美術館**

052-212-0001  
9:30-17:00  
祝日を除く金曜日は20:00まで(入場は閉館時間の30分前まで)  
月曜日(祝日の場合は翌平日)  
年末年始、展示替期間  
【常設展】  
大人300円、高校・大学生200円、中学生以下は無料(特別展はその都度定めます)  
https://art-museum.city.nagoya.jp/  
黒川紀章設計の落ち着いた空間でお気に入りの美術品を見つけください。

**Sugiura Coffee**  
080-1571-5648  
9:30-17:00  
(祝日を除く金曜日は20:00まで)  
名古屋市美術館休館日

**名古屋市美術館ミュージアムショップ**  
052-201-2885  
9:30-17:00  
(祝日を除く金曜日は20:00まで)  
名古屋市美術館休館日

もっと科学を知る！コース

**1 H-IIロケット**  
H-IIロケットは国産の大型ロケットで、液体燃料を使った2段式のエンジンより、約16.5メートルを上空およそ400kmの国際宇宙ステーションの軌道へ投入することが可能です。この展示ではやや短い約55mに短縮されています。本物のロケットの大きさ、構造を近くで感じていただけます。

**2 市電1400型ポギー車**  
1400型車両は、1937年に開業された汎太平洋和博覧会に合わせて博覧会に合わせた世界一の電車を合言葉に、名古屋市電気局と日本車製造の技術が設計し、1936年に製造されました。軽量化を目指すとともに、流線型のデザインを取り入れた画期的な車両でした。ポギー車とは、ある程度自由に回転する台車に車輪を固定した車両のことです。

**3 SM50S型警備車522号車**  
自衛隊の形式警備車をベースに、日本の南極探検のために作られた警備車です。SM50型警備車は1976年に登場し、全高が22メートルに達し、大層な存在感に圧倒されました。長ければ1ヶ月以上かかるため、警備車の後部では、食料を作ったり貯蓄できるようにしています。